

ゴムノキ類の育て方

ゴムノキ類は、クワ科イチヂク属の植物で、約2,000種の野生種があります。一般に栽培されるのは、熱帯、亜熱帯原産のインドゴムノキとその園芸品種、ガジュマル、ポダイジュなど約30品種です。

ゴムノキの年間管理

管理	月	1	2	3	4	5	6	7	8	9	10	11	12		
温度と置き場	温度	室内、できれば3℃以上に保温						戸外で日に当てる							
	置き場	ガラス越しの日によく当てる													
灌水	灌水	表土が乾いたら与える						毎日たっぷり与える							
	灌水	厳寒期は控え目にする													
施肥	施肥	油粕などを月に1回の割で与える													
	病害虫	炭ソ病・カイガラムシ スミチオンとベンレートかダイセンステンレスを混合して1,000倍にしたものを月に1回													
植え替え繁殖、仕立て直し	植え替え					切り戻し		切り戻し以外の作業				切り戻し			
	繁殖、仕立て直し	これらの作業は高温多湿であればいつでも可能													

植え替え

用土……(例)腐葉土と赤玉土を等量ずつ混ぜたもの(排水良く、少し重い土)に、元肥として緩効性化学肥料を5～6号鉢当たり約4g用土に混ぜます。

植え方…根をよく広げ、排水良く植えつけます。

仕立て直し

下葉が落ちて見苦しい木は、取り木や切り戻しをして仕立て直します。

繁殖

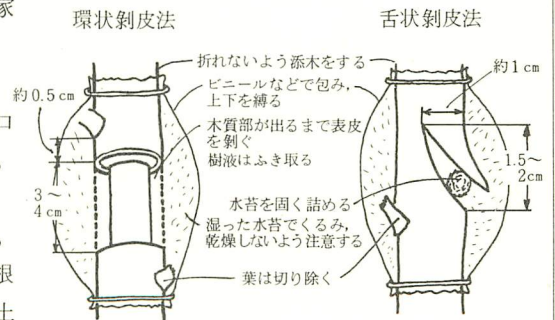
さし木、または取り木で殖やします。さし木苗は生長が遅く、樹形が整いにくいので家庭では取り木が良いでしょう。

さし木

川砂か水苔のさし床を用います。切り口から出る樹液はふき取ってからさします。

取り木(図)

部位…幹が緑色から茶かっ色に変わる所。
管理…十分発根したら(約2ヶ月後)発根部の約5cm下で切り取り、水苔か用土で植え、遮光下で管理します。翌年の植え替え時に水苔を取り除き、用土で定植して親木と同様に管理します。



取り木の方法